

SGA タンブリング競技 採点規則

1. 採点の方針

- ・タンブリング競技は初心者向けとし、減点項目にばかり目を向けることなく、演技全体を評価する。
- ・大会の趣旨にのっとり、美しさ・元気よさ・雄大さおよび演技の習熟度を評価する。
- ・積極的に加点する。

2. 適用競技会

- ・相模原市民選手権大会

3. 演技の採点

[演技の原則]

- ・選手の能力に相応しい演技構成を組み、実施すること。

[演技構成]

- ・難度(1.8)+特別要求(1.0)+加点(1.2)+実施(6.0)= **10点満点**

難度 1 技 0.3*6 技

特別要求 I 前方系の技

II 後方系の技

III 側方系の技

IV ターン、ジャンプ系の技

V 倒立、ブリッジ系の技

※各 0.2 加点される。

※対象となる技は別紙参照。

※1つの技で2つの要求を満たすことはできない。

加点 I 安定した着地

II 美しく芸術的な動き

III 姿勢欠点のない演技

IV 力強く、雄大な演技

V 優れた柔軟性（ブリッジ系の技）

VI 笑顔、元気良さを感ぜられる演技(あいさつも含む)

※各 0.1~0.2 加点される。

減点 ・小過失 0.1

・中過失 0.2~0.3

・大過失 0.4~0.5

4. その他

◇フェアプレイ賞（スポーツマンシップの優れた選手）の実施。

◇同一技は、2回まで認められる。

◇演技は、1往復で構成する。

◇方向転換の方法は、自由とする。

◇演技面は12メートルを基準とするが、主催者の準備する器具を最大限活用できる。

◇柔軟性を表現する技やバランスを入れても良いが、演技時間が長くないよう配慮すること。

SGA タンブリング競技 特別要求一覧

I 前方系の技

前転・開脚前転・伸膝前転・とび込み前転
転回（片足立ち・両足立ち）・前方宙返り（抱え込み・屈伸・伸身）
ひねりを伴う前方宙返り
※倒立前転・前方ブリッジ

II 後方系の技

後転・開脚後転・伸膝後転
バク転（開脚・閉脚）・後方宙返り（抱え込み・屈伸・伸身）
ひねりを伴う後方宙返り
※後転倒立・後方ブリッジ

III 側方系の技

側転・ロンダード
側方宙返り（片足踏切り・両足踏切り）

IV ターン・ジャンプ系の技

片足ターン・伸身ジャンプ
開脚ジャンプ(大ジャンプ)・リープジャンプ・シソンヌジャンプ

V 倒立、ブリッジ系の技

各種力倒立・倒立静止・倒立移行・背倒立
※倒立前転・前方ブリッジ
※後転倒立・後方ブリッジ

※の技は、どちらでも認定できるが2つの要求を満たすことはできない。
上記に記載されていない技で判断が困難な場合は、本協会までお問合せ
ください。